

日高村国土強靱化アクションプラン

令和3年3月

日 高 村

目 次

第1章 基本事項.....	1
1.1 日高村国土強靱化アクションプランの位置づけ	1
第2章 アクションプラン	4
2.1 アクションプランの構成	4
事前に備えるべき目標 1 直接死を最大限防ぐ	5
事前に備えるべき目標 2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する	9
事前に備えるべき目標 3 必要不可欠な行政機能は確保する	20
事前に備えるべき目標 4 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する	23
事前に備えるべき目標 5 経済活動を機能不全に陥らせない	24
事前に備えるべき目標 6 ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる	28
事前に備えるべき目標 7 制御不能な二次災害を発生させない	30
事前に備えるべき目標 8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する	32

第1章 基本事項

1.1 日高村国土強靱化アクションプランの位置づけ

概ね5年間の推進方針を示した日高村国土強靱化地域計画（以下「地域計画」という）の着実な推進を図るためには、毎年度、個別施策の進捗を極力定量的・定性的に把握し、これを基に各プログラムの進捗状況を関係機関が共有した上で、当該評価を踏まえて推進計画を策定・修正しつつ、向こう一年間に特に取り組むべき具体的な個別施策を立案・実施するというプログラムの進捗管理を行うことが極めて重要です。

このため、各プログラムの達成度や進捗を把握するために設定した重要業績指標について、その具体的な取組内容や目標値を記載した「日高村強靱化アクションプラン」（以下「アクションプラン」という）を策定しました。

このアクションプランを検証することにより、PDCAサイクルによる施策の進捗管理を行うとともに、必要に応じて、日高村地域防災計画をはじめとした各種計画による施策を追加し、漏れの無い強靱化の取組を推進します。

なお、地域計画で示された、

- ・災害等の発生に対する4つの基本目標
- ・大規模自然災害を想定した事前に備えるべき8つの目標
- ・その妨げとなるものとしての34の「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」

は次表のとおりです。

4つの基本目標

- ① 村民の生命を守る
- ② 村と地域社会の重要な機能を維持する
- ③ 村民の財産と公共施設の被害を最小化する
- ④ 迅速な復旧・復興を行う

事前に備えるべき目標	起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）	
① 直接死を最大限防ぐ	1-1	不特定多数が集まる施設などの建物倒壊等による多数の死傷者、自力脱出困難者が発生する事態
	1-2	大雨や台風に伴う河川の増水による多数の死傷者の発生する事態
	1-3	大規模な土砂災害（深層崩壊）等による多数の死傷者の発生する事態
② 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する	2-1	食料・飲料水等、生命に関わる物資供給が長期停止する事態
	2-2	多数かつ長期にわたる孤立地域等の同時発生する事態
	2-3	警察・消防等の被災による救助・救急活動等の資源が絶対的に不足する事態
	2-4	医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給の途絶による医療機能が麻痺する事態
	2-5	被災地における疫病・感染症等の大規模発生する事態
	2-6	劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態が悪化する事態
	2-7	土砂災害に伴って避難所が使用できない事態
③ 必要不可欠な行政機能は確保する	3-1	行政機関の職員・施設等の被災による機能が大幅に低下する事態
	3-2	被災による現地の警察機能の大幅な低下による治安の悪化する事態
④ 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する	4-1	防災関係機関が情報通信の長期停止により災害情報が伝達できない事態
	4-2	災害時に活用する情報サービスの機能停止による避難行動の遅れ等で、多数の死傷者が発生する事態

事前に備えるべき目標	起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）	
⑤ 経済活動を機能不全に陥らせない	5-1	事業活動が再開できないことによる雇用状況の悪化や経済が停滞する事態
	5-2	基幹的交通ネットワーク（国道等）の機能停止する事態
	5-3	金融サービス・郵便等の機能停止による村民生活への甚大な影響が発生する事態
	5-4	食料等の安定供給が停滞する事態
	5-5	農業用ハウス・集出荷場などの損壊・機能不全により、農業経営の継続が困難になる事態
⑥ ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる	6-1	電気、石油、ガスの供給機能が停止する事態
	6-2	上水道の供給が長期間にわたり停止する事態
	6-3	污水处理施設等が長期間にわたり機能停止する事態
	6-4	地域交通ネットワークが分断する事態
⑦ 制御不能な二次災害を発生させない	7-1	地震火災により住宅密集地の延焼が拡大する事態
	7-2	放水路の損壊・機能不全により二次災害が発生する事態
	7-3	農地・森林等の被害により土地の荒廃する事態
	7-4	地震に伴う液状化現象が発生する事態
⑧ 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する	8-1	復興指針や土地利用方針が決まらず復興が大幅に遅れる事態
	8-2	災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	8-3	生活環境が整わないことにより生活を再建することができない事態
	8-4	文化財や観光資源等が損失する事態
	8-5	土砂災害等により復旧・復興が大幅に遅れる事態
	8-6	土砂災害等により災害廃棄物仮置場が使用できない事態
	8-7	災害による道路の損壊等で各家庭から排出されるごみが収集できない事態

第2章 アクションプラン

2.1 アクションプランの構成

「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」を回避するための推進方針ごとに表形式で整理したアクションプランの記載事項は以下のとおりです。

- 番号（数字は、地域計画の「脆弱性の分析・評価」、「推進方針」の番号を示す。）
- アクションプラン名
- 重要業績指標
- 現状値
- 実施年度
- 目標値
- 担当課 ※番号はリスクシナリオの番号を表し、再掲箇所を記載。（表内の灰色ハッチは再掲を表す。）

また、アクションプランは現在あるもののみを記載しており、今後、適宜追記していきます。

事前に備えるべき目標 1 直接死を最大限防ぐ

リスクシナリオ 1-1 不特定多数が集まる施設などの建物倒壊等による多数の死傷者、自力脱出困難者が発生する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	住宅・建築物の耐震化	木造住宅の耐震改修延べ棟数	179／1151 棟 (16%) 【R1】	223	245	267	289	289	289 棟／1151 棟 (25%) 【R7】	総務課
②	庁舎や村有施設等の耐震化・建て替え	新庁舎工事の進捗率	70%【R2】	100					100%【R3】	総務課
③	学校等の耐震化・安全対策	目視点検の実施	実施済【R2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回実施【R3～7】	教育委員会
④	危険度判定の体制づくり	危険度判定士の育成	3名【R2】	1	1				5 名 (5 年間で 2 名) 【R3～7】	建設課 総務課
⑤	家具固定事業の推進	家具転倒防止の広報	実施済【R2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回実施【R3～7】	総務課
⑥	室内の安全対策（学校等）	目視点検の実施	実施済【R2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回実施【R3～7】	教育委員会 1-1③, ⑥
⑦	公共施設等の耐震化・ブロック塀等の倒壊対策	目視点検の実施	実施済【R2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回実施【R3～7】	教育委員会 健康福祉課 総務課
⑧	事業所向けのBCP策定マニュアルの作成①	事業所向けのBCP策定マニュアルの作成	未作成【R2】	未作成	未作成	作成済			作成済【R5】	産業環境課

事前に備えるべき目標 1 直接死を最大限防ぐ										
リスクシナリオ 1-1 不特定多数が集まる施設などの建物倒壊等による多数の死傷者、自力脱出困難者が発生する事態										
番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
⑨	空き家対策総合支援事業	空き家改修実施件数	22 件【R 2】	3	3	3	3	3	15 件（5 年間の累計） 【R 3～7】	企画課
		除却の広報	実施済【R 2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回実施【R 3～7】	総務課
⑩	社会福祉施設等の耐震化・室内の安全対策	目視点検の実施	実施済【R 2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回実施【R 3～7】	健康福祉課 1-1⑦, ⑩

事前に備えるべき目標 1 直接死を最大限防ぐ										
リスクシナリオ 1-2 大雨や台風に伴う河川の増水による多数の死傷者の発生する事態										
番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	危険箇所の周知等、予防対策①	ハザードマップの更新、周知	策定済【R 2】	—	—	—	—	1	更新、周知 （5 年間に 1 度） 【R 3～7】	総務課
②	避難所環境整備	環境整備済み避難所数	8/10（80%） 【R 2】	10					10/10（100%） 【R 3】	総務課
③	水・食料、資材等の整備（医療施設、社会福祉施設）	定期的な備蓄品の点検	備蓄済【R 2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回実施 【R 3～7】	健康福祉課

事前に備えるべき目標 1 直接死を最大限防ぐ

リスクシナリオ 1-2 大雨や台風に伴う河川の増水による多数の死傷者の発生する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R3	R4	R5	R6	R7		
④	今後、適宜追記									
⑤	救出に必要な資機材の整備	資機材整備点検および取扱い訓練	年2回実施【R2】	2	2	2	2	2	毎年2回実施【R3～7】	総務課
⑥	今後、適宜追記									
⑦	防災意識の向上（児童、生徒）	防災教育の実施回数（小学校、中学校）	小学校5回・中学校6回【R2】	5・8	5・8	5・8	5・8	5・8	小学校5回・中学校8回実施【R3～7】	教育委員会
⑧	緊急浚渫推進事業の推進	R2～R6年度（5年間）の事業計画を基に浚渫を実施する	計画作成中【R2】	2	2	2	2	2	毎年2回河川実施【R3～7】	建設課
⑨	神母樋門の維持管理の推進	重要巡視箇所としての点検	年1回実施【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	建設課
		ハザードマップの更新、周知	策定済【R2】	—	—	—	—	1	更新、周知（5年間に1度）【R3～7】	総務課 1-2①, ⑨, 1-3⑧
⑩	日下川下流域の改修の推進	要望活動の実施回数	年1回実施【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	建設課

事前に備えるべき目標 1 直接死を最大限防ぐ

リスクシナリオ 1-3 大規模な土砂災害（深層崩壊）等による多数の死傷者の発生する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	土砂災害警戒区域等の周知・外壁の補強	住宅等土砂災害対策促進事業の広報	実施済【R 2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回実施【R 3～7】	総務課
②	土砂災害時の避難体制づくり	土砂災害対応訓練の実施	0回【R 2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回実施【R 3～7】	総務課
③	土砂災害危険箇所等・急傾斜地対策のハード整備	急傾斜地崩壊対策事業の完了数（高知県事業）	3地区（実施中）【R 2】	1 (完了)	1 (完了)	1 (完了)	1	1	3／3地区（完了）【R 5】	建設課
④	土砂災害特別警戒区域内の住宅の移転等	住宅等土砂災害対策促進事業の広報	実施済【R 2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回実施【R 3～7】	総務課 1-3①, ④
⑤	森林経営計画対象林の認定①	森林経営計画対象林面積	84.71 ha【R 2】	144.71	204.71	264.71	324.71	384.71	384.71 ha【R 7】	産業環境課
⑥	間伐支援の実施	間伐実施面積	1 ha【R 2】	15	31	67	83	99	296 ha（5年間の累計）【R 7】	産業環境課
⑦	有害鳥獣による農林被害の削減	有害鳥獣駆除により、有害鳥獣による林野及び農地への被害件数を削減させる。	28件【R 2】	—	—	—	—	—	15件（5年間の累計）【R 3～7】	産業環境課

事前に備えるべき目標 1 直接死を最大限防ぐ

リスクシナリオ 1-3 大規模な土砂災害（深層崩壊）等による多数の死傷者の発生する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
⑧	危険箇所の周知等、予防対策②	ハザードマップの更新、周知	策定済【R 2】	—	—	—	—	1	更新、周知 （5年間に1度） 【R 3～7】	総務課 1-2①, ⑨, 1-3⑧
		総合治水条例の運用	策定【R 2】	区域 設定	運用 開始				運用開始【R 4】	建設課

事前に備えるべき目標 2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

リスクシナリオ 2-1 食料・飲料水等、生命に関わる物資供給が長期停止する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	家庭等・公的備蓄の推進	学校備蓄整備箇所	2／3校 （整備率 67%） 【R 2】	3	3	3	3	3	3／3校 （整備率 100%） 【R 7】	教育委員会
		家庭備蓄の広報	実施済【R 2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R 3～7】	総務課 健康福祉課
②	井戸の確保（生活用水）	防災井戸協力の広報	未実施【R 2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R 3～7】	総務課

事前に備えるべき目標 2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

リスクシナリオ 2-1 食料・飲料水等、生命に関わる物資供給が長期停止する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
③	中央簡易水道事業 10 箇年計画の推進	水道管耐震化延長数	400m/年（更新） 【R 2】	400	400	400	400	400	毎年 400m更新 【R 3～7】	建設課
④	今後、適宜追記									
⑤	物資輸送ルートの確保	社会資本総合整備事業 の道路工事完了数	5 路線（実施中） 【R 2】	5 (実施中)	5 (実施中)	5 (完了)	5	5	5 路線（完了） 【R 5】	建設課
⑥	物資配送計画の策定	物資配送計画の策定	未策定【R 2】	策定済					策定済【R 3】	総務課
⑦	輸送訓練の実施	物資配送計画の策定	未策定【R 2】	策定済					策定済【R 3】	総務課 2-1⑥, ⑦
⑧	体制づくりの構築（啓 開情報）	啓開情報の収集	1 回【R 2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回実施【R 3～7】	建設課
⑨	緊急輸送道路の通行確 保	耐震化した沿道建物棟 数	3 棟／1 2 棟 【R 2】	1	1	1	0	0	6 棟／1 2 棟 【R 7】	総務課
⑩	車両の満タン給油の推 進	広報・啓発活動の実施	0 回【R 2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回実施【R 3～7】	総務課

事前に備えるべき目標 2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

リスクシナリオ 2-2 多数かつ長期にわたる孤立地域等の同時発生する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	通信連絡体制の整備	I P 告知端末、屋外拡声器の整備 超高速インターネット 加入世帯の割合	40%【R 2】					50	50%【R 7】	総務課
②	緊急用ヘリコプター離着陸場の確保	ヘリコプター離着陸場の維持管理のための整備の実施	離着陸場の確保済み（2箇所） 維持管理、点検【R 2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回実施【R 3～7】	総務課
③	橋梁の長寿命化、道路の整備及び維持管理	橋梁長寿命化修繕計画の更新	策定済【R 2】			更新			更新（5年に1度） 【R 5】	建設課
④	避難路や緊急輸送道路等の閉塞対策	木造住宅の耐震改修延べ棟数	179／1151 棟（16%） 【R 1】	223	245	267	289	289	289 棟／1151 棟（25%） 【R 7】	総務課 1-1①, 2-2④
⑤	飲料水や食料の備蓄、燃料の確保	公的備蓄品の充足率（通常3日、孤立7日）	80%【R 2】	100	100	100	100	100	100%【R 3】	総務課

事前に備えるべき目標 2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

リスクシナリオ 2-3 警察・消防等の被災による救助・救急活動等の資源が絶対的に不足する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	庁舎の耐震化等・非常用電源の高層階設置などの対策	新庁舎工事の進捗率	70%【R2】	100					100%【R3】	総務課 1-1②, 2-3①, 3-1④
②	消火器・防火水槽の整備①	消火栓・防火水槽の点検	年1回実施【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	総務課
③	訓練の実施	災害対応職員訓練の実施	0回【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	総務課
④	ヘリコプターが円滑に活動できる体制整備の推進	ヘリコプター離着陸場の維持管理のための整備の実施	離着陸場の確保済み (2箇所) 維持管理、点検【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	総務課 2-2②, 2-3④, 2-4③, ⑤
⑤	受援体制の構築	災害対応職員訓練の実施	0回【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	総務課 2-3③, ⑤, 3-1⑤, ⑥, ⑦, ⑧, ⑩
⑥	重要な防災拠点の資機材整備	備蓄医薬品等必要な資機材を整備する	一部備蓄済 医薬品については検討中【R2】	必要分 設置	更新	更新	更新	更新	備蓄及び適宜更新【R3～7】	総務課 健康福祉課
⑦	消防団員数の確保	消防団員数	102人【R2】	102	102	102	102	102	102人【R7】	総務課
⑧	消防団の資機材整備	資機材の点検	実施済【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	総務課

事前に備えるべき目標 2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する										
リスクシナリオ 2-3 警察・消防等の被災による救助・救急活動等の資源が絶対的に不足する事態										
番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
⑨	災害対応型 SS（給油所）の整備①	災害対応 SS（給油所）の整備率	100%【R 2】	100	100	100	100	100	100%【R 3～7】	総務課
⑩	応急期機能配置計画の見直し	応急期機能配置計画の見直し	策定済【R 2】	随時	随時	随時	随時	随時	随時見直し【R 3～7】	総務課

事前に備えるべき目標 2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する										
リスクシナリオ 2-4 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給の途絶による医療機能が麻痺する事態										
番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	医療機関、社会福祉施設の BCP 作成	医療機関、社会福祉施設の BCP 作成の啓発	未実施【R 2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回実施【R 3～7】	健康福祉課 総務課
②	地域に残存する医療資源で耐えうる体制づくり	備蓄医薬品等必要な資機材を整備する	一部備蓄済 医薬品については検討中【R 2】	必要分 設置	更新	更新	更新	更新	備蓄及び適宜更新【R 3～7】	健康福祉課 2-3⑥, 2-4②
③	地域医療活動をバックアップする体制整備の推進	ヘリコプター離着陸場の維持管理のための整備の実施	離着陸場の確保済み（2箇所） 維持管理、点検【R 2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回実施【R 3～7】	総務課 2-2②, 2-3④, 2-4③, ⑤

事前に備えるべき目標 2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

リスクシナリオ 2-4 医療施設及び関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給の途絶による医療機能が麻痺する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
④	医療救護体制の整備	医療救護所での傷病の安定化に努め、早急に搬送ができる体制を構築するため、地域の関係者を巻き込みあらゆる想定で医療救護所訓練等を実施。	年 1 回訓練実施 【R 2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回訓練実施 【R 3～7】	健康福祉課
⑤	医療従事者の搬送の検討	ヘリコプター離着陸場の維持管理のための整備の実施	離着陸場の確保済み (2箇所) 維持管理、点検【R 2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回実施【R 3～7】	総務課 2-2②, 2-3④, 2-4③, ⑤
⑥	医療搬送に向けた運用方法の策定	公用車緊急車両登録実施と運用方法の策定協議実施	未実施【R 2】	1					搬送用公用車登録 【R 3】	総務課 健康福祉課
⑦	医療救護訓練の実施	医療救護訓練の実施回数	年 1 回実施 【R 2】	1	1	1	1	1～2	毎年 1～2 回実施【R 7】 (福祉避難所とも連携、同時訓練実施)	健康福祉課

事前に備えるべき目標 2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

リスクシナリオ 2-5 被災地における疫病・感染症等の大規模発生する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	仮設トイレの整備等	仮設トイレの整備率	100%【R 2】	100	100	100	100	100	100%【R 3～7】	総務課
②	検視や火葬の体制の整備	遺体対応マニュアルの作成	未作成【R 2】	未作成	未作成	未作成	未作成	作成済	作成済【R 7】	産業環境課 健康福祉課
		体制整備	未整備【R 2】	未整備	未整備	未整備	未整備	整備済	整備済【R 7】	産業環境課 健康福祉課
		近隣市町村と協議して、広域的な火葬場の設置を検討する。	未協議【R 2】	0	0	0	0	1	協議【R 7】 (R 7までに 1 回実施)	産業環境課
③	合併処理浄化槽普及促進	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換普及を促進する為、補助金申請に関する記事を村広報誌に掲載する。	年 1 回掲載【R 2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回掲載 【R 3～7】	産業環境課

事前に備えるべき目標 2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

リスクシナリオ 2-5 被災地における疫病・感染症等の大規模発生する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
④	焼却施設等におけるBCP策定①	高知県中央西部焼却処理事務組合及び仁淀川下流衛生事務組合が策定したBCPの情報提供を受け、それに応じた対応をする。	検討中【R 2】	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	毎年 1 回は進捗状況を確認【R 3～7】	産業環境課
⑤	災害発生後の感染症対策等	パンデミックを想定した訓練の実施回数	0回【R 2】	0	0	0	0	1	1回【R 7】 (R 7までに1回実施)	総務課 産業環境課 健康福祉課
		疫病、感染症対策等を高知県中央西福祉保健所の支援をもとに健康福祉課を通じて情報収集を行い、感染症対策を行う。	0回【R 2】	2	2	2	2	2	毎年 2 回情報収集実施【R 3～7】	産業環境課

事前に備えるべき目標 2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

リスクシナリオ 2-6 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態が悪化する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	要配慮者対応体制の整備	福祉避難所を新規確保数	0施設【R2】	0	0	0	0	1	1施設【R3～7】	健康福祉課
		要配慮者対応マニュアルの整備	0/6（0%） 【R2】	6					6/6（100%） 【R3】	総務課
②	地域主体の避難所運営体制の整備推進	避難所運営マニュアルに基づく訓練の実施回数	0回【R2】	0	0	0	0	1	1回【R7】 （R7までに1回実施）	総務課
③	避難所の環境整備	避難所環境整備	8/10 箇所（80%） 【R2】	10					10/10 箇所（100%） 【R3】	総務課
④	ペットの保護体制の整備に関する情報収集	被災者とペットが共に避難できる避難所の確保やペットの保護体制について、高知県中央西福祉保健所及び高知県食品・衛生課から必要な情報収集を行う。	0回【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施 【R3～7】	産業環境課
⑤	老朽化トイレの改修	未対策箇所の改修率（トイレ）	0/6 基【R2】	6					6/6 基（整備率 100%） 【R3】	教育委員会

事前に備えるべき目標 2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

リスクシナリオ 2-6 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態が悪化する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
⑥	感染症予防対策を盛り込んだ避難所運営マニュアル策定	感染症予防対策を盛り込んだ避難所運営マニュアル策定	2/10 (20%) 【R 2】	6	10				10/10 (100%) 【R 4】	総務課 健康福祉課
⑦	保健衛生活動体制の整備推進	研修会に参加	0回【R 2】	1	1	1	1	1	毎年1回参加【R 3～7】	健康福祉課
⑧	被災した要配慮者を支援するための仕組みづくり	避難所運営マニュアル策定	8/10 (80%) 【R 2】	10					10/10 (100%) 【R 3】	総務課
⑨	災害廃棄物仮置場確保に関する用地の情報収集	避難所生活の長期化を防ぐため、災害廃棄物仮置場を確保する為に県が行う広域ブロック協議会を通じて必要な情報収集を行う。	年1回実施【R 2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R 3～7】	産業環境課
		応急期機能配置計画の見直し	策定済【R 2】	随時	随時	随時	随時	随時	随時見直し【R 3～7】	総務課 2-3⑩, 2-6⑨, 6-1④
⑩	被災者の住まい確保	避難所運営マニュアルに基づく取り組み	0回【R 2】	0	0	0	0	1	1回実施【R 7】	建設課

事前に備えるべき目標 2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

リスクシナリオ 2-6 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態が悪化する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
⑪	事業者や他市町村等と連携した体制構築	必要な情報収集を行う	0回【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	建設課
⑫	自主防災組織の活性化	自主防災組織率	95.2% 【R2】					100	100% 【R7】	総務課
⑬	自主防災組織の活動内容の充実・新たなリーダーの育成	自主防災組織率	95.2% 【R2】					100	100% 【R7】	総務課 2-6⑫, ⑬, 7-4①
⑭	避難所運営マニュアル作成・住民を巻き込んだ実践的な訓練の実施	避難所運営マニュアル策定	8/10(80%) 【R2】	10					10/10(100%) 【R3】	総務課 2-6⑧, ⑭
⑮	被災時に起こりうる健康障害の予防	保健活動情報伝達訓練	1回【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	健康福祉課
		健康障害の予防リーフレット見直し	作成済【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	健康福祉課

事前に備えるべき目標 2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

リスクシナリオ 2-7 土砂災害に伴って避難所が使用できない事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	個別避難支援計画作成等の推進	福祉避難所における避難訓練の実施	1 箇所実施【R 1】	1	1	1	1	全箇所	全箇所実施【R 7】	健康福祉課

事前に備えるべき目標 3 必要不可欠な行政機能は確保する

リスクシナリオ 3-1 行政機関の職員・施設等の被災による機能が大幅に低下する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	情報伝達・収集手段の多重化	IP 告知端末、屋外拡声器の整備 超高速インターネット 加入世帯の割合	40%【R 2】					50	50%【R 7】	総務課 2-2①, 3-1①, 4-2②, 8-3③
②	今後、適宜追記									
③	職員の動員体制の整備	職員初動マニュアルに基づく、訓練の実施	策定予定【R 2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回実施【R 3～7】	総務課
④	具体的な対応マニュアル等の策定	各所属における初動マニュアル策定	0 課【R 2】	0	0	0	0	全課	全課策定【R 7】	関係各課

事前に備えるべき目標 3 必要不可欠な行政機能は確保する

リスクシナリオ 3-1 行政機関の職員・施設等の被災による機能が大幅に低下する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
⑤	危機管理対応職員の人材育成	災害対応職員訓練の実施	0回【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	総務課 2-3③, ⑤, 3-1⑤, ⑥, ⑦, ⑧, ⑩
⑥	職員の動員体制等に関する具体的な対応マニュアル整備等	災害対応職員訓練の実施	0回【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	総務課 2-3③, ⑤, 3-1⑤, ⑥, ⑦, ⑧, ⑩
⑦	災害対策本部体制の強化	災害対応職員訓練の実施	0回【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	総務課 2-3③, ⑤, 3-1⑤, ⑥, ⑦, ⑧, ⑩
⑧	業務継続計画の実効性の向上	災害対応職員訓練の実施	0回【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	総務課 2-3③, ⑤, 3-1⑤, ⑥, ⑦, ⑧, ⑩
⑨	重要な防災拠点の運営マニュアルの検討	職員初動マニュアルに基づく、訓練の実施	策定予定【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	総務課 3-1③, ⑨
⑩	受入体制の整備	災害対応職員訓練の実施	0回【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	総務課 2-3③, ⑤, 3-1⑤, ⑥, ⑦, ⑧, ⑩
⑪	今後、適宜追記									

事前に備えるべき目標 3 必要不可欠な行政機能は確保する

リスクシナリオ 3-1 行政機関の職員・施設等の被災による機能が大幅に低下する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
⑫	システムダウン長期化 対策のマニュアル作成	①システムダウン長期 化の際の業務の特定(ヒ アリング) 後、マニ ュアル整備 ②職員育成はマニ ュアル整備後随時	①0%【R 2】	①100	②随時	②随時	②随時	②随時	①100%【R 3】 ②随時【R 4～7】	住民課
⑬	罹災証明作成等が行え る職員の育成	①罹災証明書の様式統 一化に向けた要綱改正 ②罹災証明作成・調 査・交付業務に係る統 一化マニュアルの整備 ③受援計画整備	①検討中【R 2】 ②0%【R 2】 ③0%【R 2】	①100 ②100 ③100					①100%【R 3】 ②100%【R 3】 ③100%【R 3】	住民課
⑭	シミュレーション（本 部運営）の実施	新庁舎工事の進捗率	70%【R 2】	100					100%【R 3】	総務課 1-1②, 2-3①, 3- 1⑭

事前に備えるべき目標 3 必要不可欠な行政機能は確保する

リスクシナリオ 3-2 被災による現地の警察機能の大幅な低下による治安の悪化する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	警察との連携強化	防災訓練を警察と実施	実施済【R 2】	1	1	1	1	1	毎年 1 回実施【R 3～7】	総務課

事前に備えるべき目標 4 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する

リスクシナリオ 4-1 防災関係機関が情報通信の長期停止により災害情報が伝達できない事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	今後、適宜追記									

事前に備えるべき目標 4 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する

リスクシナリオ 4-2 災害時に活用する情報サービスの機能停止による避難行動の遅れ等で、多数の死傷者が発生する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	避難場所MAP作成	観光拠点や観光資源等への避難場所を表示したMAPの設置	未設置【R 2】				設置済		設置済【R 6】	産業環境課

事前に備えるべき目標 4 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する

リスクシナリオ 4-2 災害時に活用する情報サービスの機能停止による避難行動の遅れ等で、多数の死傷者が発生する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
②	IP告知端末の全戸設置等	IP告知端末、屋外拡声器の整備 超高速インターネット加入世帯の割合	40%【R2】					50	50%【R7】	総務課 2-2①, 3-1①, 4-2②, 8-3③

事前に備えるべき目標 5 経済活動を機能不全に陥らせない

リスクシナリオ 5-1 事業活動が再開できないことによる雇用状況の悪化や経済が停滞する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	地域と一体となった訓練の実施	総合防災訓練の実施	実施済（地区ごと） 【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施（地区ごと） 【R3～7】	総務課
②	事業所向けのBCP策定マニュアルの作成②	事業所向けのBCP策定マニュアルの作成	未作成【R2】	未作成	未作成	作成済			作成済【R5】	産業環境課 1-1⑧, 5-1②, 5-2⑤
③	今後、適宜追記									

事前に備えるべき目標 5 経済活動を機能不全に陥らせない

リスクシナリオ 5-1 事業活動が再開できないことによる雇用状況の悪化や経済が停滞する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
④	村内防災関連事業者の周知	村内で、防災関連製品の製造や販売等を行っている事業所を広報等で紹介することで、地産地消を推進する	0回【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	産業環境課
⑤	村内事業所の求人等の情報収集	村内事業所の求人等について、情報収集を行うことにより問い合わせに迅速に対応できるようにする。	0回【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	産業環境課

事前に備えるべき目標 5 経済活動を機能不全に陥らせない

リスクシナリオ 5-2 基幹的交通ネットワーク（国道等）の機能停止する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	道路整備の推進	社会資本総合整備事業の道路工事完了数	5路線（実施中） 【R2】	5 （実施中）	5 （実施中）	5 （完了）			5路線（完了）【R5】	建設課 2-1⑤, 5-2①

事前に備えるべき目標 5 経済活動を機能不全に陥らせない

リスクシナリオ 5-2 基幹的交通ネットワーク（国道等）の機能停止する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
②	橋梁の耐震補強、土砂災害対策、施設の長寿命化	橋梁長寿命化修繕計画の更新	策定済【R 2】			更新			更新（5年に1度）【R 5】	建設課 2-2③, 5-2②, 6-4①
③	連携した体制の構築・資機材の確保の推進	情報共有	実施済【R 2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R 3～7】	建設課
④	建設業向けのBCP策定マニュアルの作成①	建設業向けのBCP策定マニュアルの作成	未作成【R 2】	未作成	未作成	未作成	未作成	作成済	作成済【R 7】	建設課
⑤	事業所向けのBCP策定マニュアルの作成③	事業所向けのBCP策定マニュアルの作成	未作成【R 2】	未作成	未作成	作成済			作成済【R 5】	産業環境課 1-1⑧, 5-1②, 5-2⑤
⑥	住宅の耐震化、ブロック塀等の安全対策、老朽住宅の除却、沿道建築物の耐震化等	耐震化した沿道建物棟数	3棟／12棟【R 2】	1	1	1	0	0	6棟／12棟【R 7】	総務課 2-1⑨, 5-2⑥

事前に備えるべき目標 5 経済活動を機能不全に陥らせない

リスクシナリオ 5-3 金融サービス・郵便等の機能停止による村民生活への甚大な影響が発生する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R3	R4	R5	R6	R7		
①	今後、適宜追記									
②	今後、適宜追記									

事前に備えるべき目標 5 経済活動を機能不全に陥らせない

リスクシナリオ 5-4 食料等の安定供給が停滞する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R3	R4	R5	R6	R7		
①	農産物の生産・流通の BCPマニュアル策定	農産物の生産・流通の BCPマニュアル策定	未策定【R2】	未策定	未策定	策定済			策定済【R5】	産業環境課
②	防護柵等設置による有 害鳥獣被害の削減	防護柵等設置を推進 し、有害鳥獣による農 産物への被害を削減さ せる	10件【R2】	10	9	8	7	6	40件（5年間の累計） 【R3～7】	産業環境課

事前に備えるべき目標 5 経済活動を機能不全に陥らせない

リスクシナリオ 5-5 農業用ハウス・集出荷場などの損壊・機能不全により、農業経営の継続が困難になる事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R3	R4	R5	R6	R7		
①	農業災害調査及び関係機関人員配置表の作成	災害発生後、速やかな被害調査・確認、それに伴う人員配置表を作成する	未作成【R2】	未作成	未作成	作成済			作成済【R5】	産業環境課

事前に備えるべき目標 6 ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる

リスクシナリオ 6-1 電気、石油、ガスの供給機能が停止する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R3	R4	R5	R6	R7		
①	関係機関との体制の構築	啓開情報の収集	1回【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	建設課 2-1⑧, 6-1①
②	燃料供給のバックアップ体制の検討	災害対応SS（給油所）の整備率	100%【R2】	100	100	100	100	100	100%【R3～7】	総務課 2-3⑨, 6-1②, ③
③	災害対応型SS（給油所）の整備②	災害対応SS（給油所）の整備率	100%【R2】	100	100	100	100	100	100%【R3～7】	総務課 2-3⑨, 6-1②, ③
④	避難所、応急救助機関の活動拠点の機能確保	応急期機能配置計画の見直し	策定済【R2】	随時	随時	随時	随時	随時	随時見直し【R3～7】	総務課 2-3⑩, 2-6⑨, 6-1④

事前に備えるべき目標 6 ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる

リスクシナリオ 6-2 上水道の供給が長期間にわたり停止する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	井戸の確保（飲料水、生活用水）	防災井戸協力の広報	未実施【R 2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R 3～7】	総務課 2-1②, 6-2①
②	水道施設の耐震化等	水道管耐震化延長数	400m／年 （更新）【R 2】	400	400	400	400	400	毎年400m更新 【R 3～7】	建設課 2-1③, 6-2②
③	今後、適宜追記									

事前に備えるべき目標 6 ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる

リスクシナリオ 6-3 污水处理施設等が長期間にわたり機能停止する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	合併処理浄化槽への転換	合併処理浄化槽普及率	56.2%【R 1】	60.8	63.4	65.9	68.6	71.3	71.3%【R 7】 （参考）新規浄化槽予定設置基 数 5人槽：50基、7人槽： 50基、10人槽：5基	産業環境課

事前に備えるべき目標 6 ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる

リスクシナリオ 6-4 地域交通ネットワークが分断する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R3	R4	R5	R6	R7		
①	道路ネットワークの確保	橋梁長寿命化修繕計画の更新	策定済【R2】			更新			更新（5年に1度）【R5】	建設課 2-2③, 5-2②, 6-4①

事前に備えるべき目標 7 制御不能な二次災害を発生させない

リスクシナリオ 7-1 地震火災により住宅密集地の延焼が拡大する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R3	R4	R5	R6	R7		
①	今後、適宜追記									
②	今後、適宜追記									
③	消火器・防火水槽の整備②	消火栓・防火水槽の点検	年1回実施【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	総務課 2-3②, 7-1③

事前に備えるべき目標 7 制御不能な二次災害を発生させない

リスクシナリオ 7-2 放水路の損壊・機能不全により二次災害が発生する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	放水路の維持管理	維持管理の実施	毎月点検【R 2】	毎月 点検	毎月 点検	毎月 点検	毎月 点検	毎月 点検	毎年、毎月点検の実施 【R 3～7】	建設課
②	「流域治水」への転換 の推進	総合治水条例の運用	策定【R 2】	区域 設定	運用 開始				運用開始【R 4】	建設課 1-3⑧, 7-2②

事前に備えるべき目標 7 制御不能な二次災害を発生させない

リスクシナリオ 7-3 農地・森林等の被害により土地の荒廃する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	耕作放棄地の発生防止 及び解消	耕作放棄面積	10.5 ha【R 2】	10.0	9.5	9.0	8.5	8.0	8.0 ha【R 7】	産業環境課
		実質化された人・農地 プラン策定地区数	2 件【R 2】	3					3 件（5 年間の累計） 【R 7】	産業環境課
②	森林経営計画対象林の 認定②	森林経営計画対象林面 積	84.71 ha 【R 2】	144.71	204.71	264.71	324.71	384.71	384.71 ha 【R 7】	産業環境課 1-3⑤, 7-3②

事前に備えるべき目標 7 制御不能な二次災害を発生させない

リスクシナリオ 7-4 地震に伴う液状化現象が発生する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R3	R4	R5	R6	R7		
①	住民一人ひとりの防災意識の向上	自主防災組織率	95.2% 【R2】					100	100% 【R7】	総務課 2-6⑫, ⑬, 7-4①

事前に備えるべき目標 8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

リスクシナリオ 8-1 復興指針や土地利用方針が決まらず復興が大幅に遅れる事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課	
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7			
①	今後、適宜追記										
②	建設業向けのBCP策 定マニュアルの作成②	建設業向けのBCP策 定マニュアルの作成	未作成【R 2】	未作成	未作成	未作成	未作成	作成済	作成済【R 7】	建設課 5-2④, 8-1②	
③	今後、適宜追記										

事前に備えるべき目標 8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

リスクシナリオ 8-2 災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	日高村災害廃棄物処理計画の更新	日高村災害廃棄物処理計画のバージョンアップを行う。	策定済【R 2】	策定済	策定済	改定済			改定済【R 5】	産業環境課
②	焼却施設等におけるBCP策定②	高知県中央西部焼却処理事務組合及び仁淀川下流衛生事務組合が策定したBCPの情報提供を受け、それに応じた対応をする。	検討中【R 2】	検討中	検討中	検討中	検討中	検討中	毎年 1 回は進捗状況を確認【R 3～7】	産業環境課 2-5④, 8-2②
③	災害廃棄物処理ができる人材の育成	高知県が毎年実施している災害廃棄物処理広域ブロック協議会に積極的に参加し、災害廃棄物処理を被災現場で実務的に担っていくノウハウを学ぶ。	年 2 回実施【R 2】	2	2	2	2	2	毎年 2 回程度実施【R 3～7】	産業環境課

事前に備えるべき目標 8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

リスクシナリオ 8-2 災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
④	災害時における損壊家屋等の解体撤去及び災害廃棄物の収集等に関する協定	日高村建設業協会と地震又は風水害、その他特殊な災害時における損壊した家屋等の解体撤去及び災害廃棄物の収集・運搬・撤去) に関し、研修等を通じて実務的に担っていくノウハウを学ぶ。	0回【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回程度実施【R3~7】	産業環境課
		日高村建設業協会との情報共有	0回【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回程度実施【R3~7】	建設課

事前に備えるべき目標 8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

リスクシナリオ 8-3 生活環境が整わないことにより生活を再建することができない事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	地籍調査の有効活用	G I Sデータの更新(地籍)	実施済【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3~7】	建設課 住民課

事前に備えるべき目標 8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

リスクシナリオ 8-3 生活環境が整わないことにより生活を再建することができない事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
②	今後、適宜追記									
③	情報提供ができる体制の整備	I P告知端末、屋外拡声器の整備 超高速インターネット加入世帯の割合	40%【R 2】					50	50%【R 7】	総務課 2-2①, 3-1①, 4-2②, 8-3③
④	ボランティア活動が円滑に行われるための体制づくり	日高村災害ボランティアセンター設置マニュアルの活用。 社会福祉協議会実施の災害ボランティアセンター連絡会の訓練等活動を支援。	年1回訓練実施【R 2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R 3～7】	社会福祉協議会 健康福祉課 総務課
⑤	学校・保育所等におけるBCP策定	学校再開計画の策定や保育所等のBCP策定（保育園：2園、小学校：2校、中学校：1校）	未策定【R 2】	策定着手	策定中	策定中	策定中	策定済	策定済【R 7】	教育委員会

事前に備えるべき目標 8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

リスクシナリオ 8-3 生活環境が整わないことにより生活を再建することができない事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
⑥	住家被害認定士の育成 推進	住家被害認定士の育成	0人【R2】					2人	2人【R7】	住民課、総務課

事前に備えるべき目標 8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

リスクシナリオ 8-4 文化財や観光資源等が損失する事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課	
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7			
①	今後、適宜追記										
②	防災点検の実施	防災点検の実施。 避難経路や危険箇所、 防災設備等の確認を行 い、関係機関と連携し て環境整備、建物の耐 震化事業を推進する。	0回【R2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R3～7】	産業環境課	

事前に備えるべき目標 8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

リスクシナリオ 8-5 土砂災害等により復旧・復興が大幅に遅れる事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	周知、予防対策等の推進・国の緊急災害対策派遣隊等の支援体制の要請	要望活動の実施回数	実施済【R 2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R 3～7】	建設課
②	地域防災計画の見直し	地域防災計画の見直し	策定済【R 2】	随時	随時	随時	随時	随時	随時見直し【R 3～7】	総務課
③	UAV操縦者の育成等	操縦できる職員の育成	5人【R 2】	10	10	10	10	10	10人（累計）【R 7】	総務課

事前に備えるべき目標 8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

リスクシナリオ 8-6 土砂災害等により災害廃棄物仮置場が使用できない事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	仮置場耐震化及び候補地情報収集	現状の仮置場の耐震化を行いつつ、予備仮置場になりそうな土地の情報収集を行う。	0回【R 2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R 3～7】	産業環境課

事前に備えるべき目標 8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

リスクシナリオ 8-7 土砂災害等により災害廃棄物仮置場が使用できない事態

番号	アクション名	重要業績指標	現状値	実施年度					目標値	担当課
				R 3	R 4	R 5	R 6	R 7		
①	道路状況等情報収集	村道等の道路状況について情報収集を行う。	0回【R 2】	1	1	1	1	1	毎年1回実施【R 3～7】	産業環境課 建設課

日高村国土強靱化アクションプラン

令和3年3月

発行

日高村総務課

〒781-2194

高知県高岡郡日高村本郷 61-1

電話 0889-24-5113

FAX 0889-24-7900